

## 呼吸器内科後期研修プログラム

### ○研修の概要

肺癌、肺感染症、気管支喘息、COPD、間質性肺疾患など主要な呼吸器疾患の入院や外来診療に携わり、呼吸器内科医としての専門性を習得するための研修を行います。また、宇都宮地域の二次救急医療を担当しているため、内科全般の救急医療の対応や手技の研修も可能です。

### ○到達目標

呼吸器疾患全般にわたる病態生理の理解と診断、治療法の習得。

### ○S1-3以降で取得できる資格

呼吸器専門医：認定内科医を取得後に3年間以上、学会認定施設において呼吸器病学の臨床研修歴があること。臨床呼吸機能講習会の受講歴があること。

気管支鏡専門医：呼吸器内視鏡学会入会后5年以上経過し、規定の業績、気管支鏡診療歴があること。

### ○学会発表

院内研究会や学会などで年に数回

### ○指導医

呼吸器指導医：木平百合子、細野達也

気管支鏡指導医：木平百合子、細野達也

### ○研修の特徴

自治医科大学などとの呼吸器疾患の病診連携も行っており、稀な呼吸器疾患の診断と治療も経験できます。呼吸器外科と連携の上気胸、肺癌などの手術症例も経験できます。